

奈良県の労働市場の動き（平成29年11月分）

・有効求人倍率（季節調整値）は、1.38倍で、前月と同水準となり、平成の最高値を維持しました。
前年同月比では、0.16ポイント上回りました。

・全国は1.56倍で、奈良県は0.18ポイント下回りました。
・近畿ブロックは1.51倍で、奈良県は0.13ポイント下回りました。

・有効求人数（季節調整値）は、24,345人、前年同月比で4.7%の増加となりました。
前年同月比では、31か月連続の増加となりました。

・有効求職者数（季節調整値）は、17,673人、前年同月比で7.1%の減少となりました。
前年同月比では、77か月連続で減少となりました。

・新規求人倍率（季節調整値）は2.13倍でした。
前月より0.13ポイント上回りました。

・新規求人数（季節調整値）は、8,915人、前年同月比で3.7%の増加となりました。
前年同月比で、2か月ぶりの増加となりました。

主要産業の新規求人状況を前年同月比で見ると、「建設業」、「製造業」、「医療福祉」において増加し、「運輸業、郵便業」、「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「サービス業(他に分類されないもの)」、で減少しました。

建設業(前年同月比22.5%増)、
製造業(同17.8%増)、
運輸業、郵便業(同12.1%減)、
卸売業、小売業(同7.2%減)、
宿泊業、飲食サービス業(同13.5%減)、
医療、福祉(同1.8%増)、
サービス業(他に分類されないもの)(同1.9%減)

・新規求人数（原数値）のうちパート求人は4,296人でした。
パート求人の比率は49.1%でした。

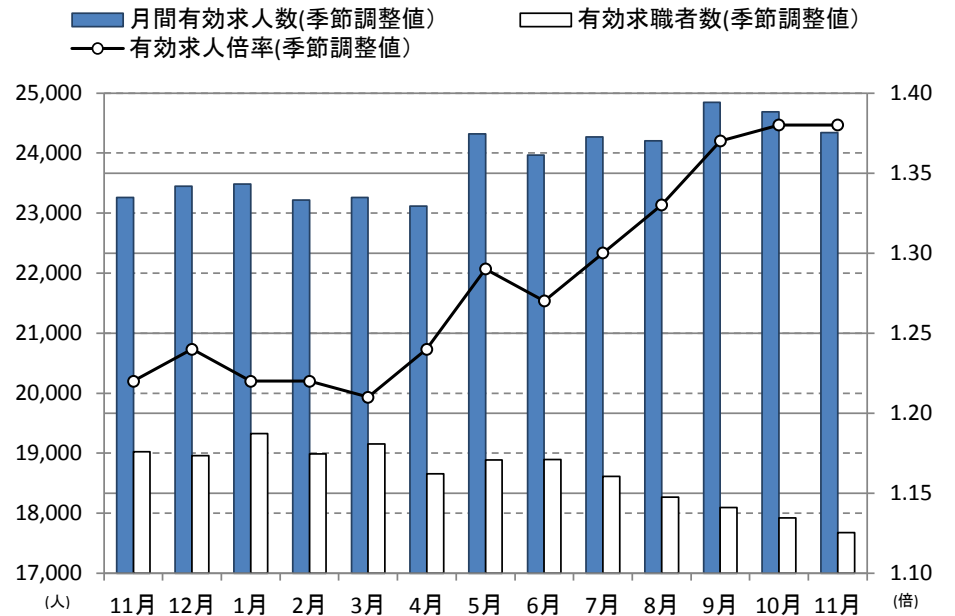
・新規求職者（季節調整値）は、4,189人で、前年同月比で8.4%の減少となりました。
前月に比べて3.1%増加しました。

・雇用保険受給資格決定件数は961件でした。
前年同月比で12.6%の減少となりました。

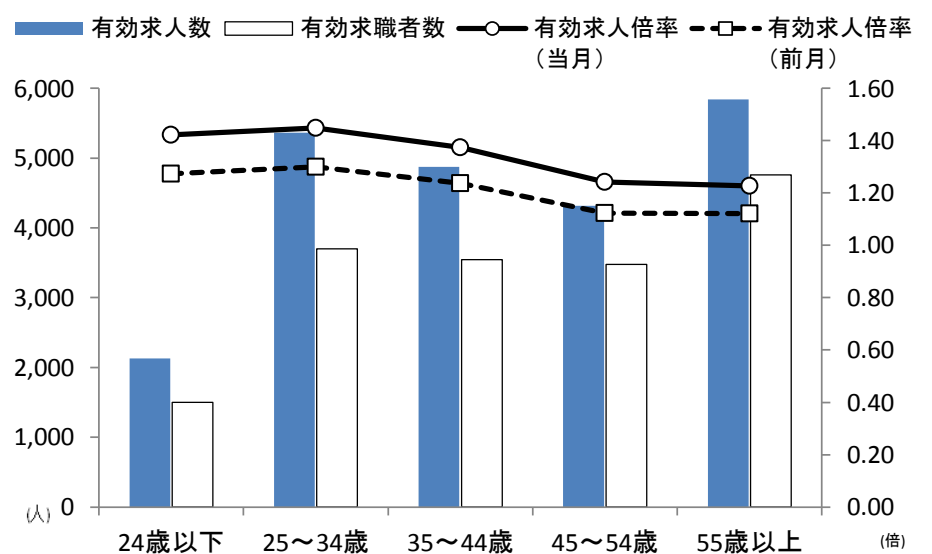
・雇用保険受給者実人員は4,051人でした。
前年同月比で3.8%の減少となりました。

(注) 求人倍率(季節調整値)については、季節調整替えが行われ、平成28年12月以前の数値は改訂されております。季節調整法センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)により改訂。

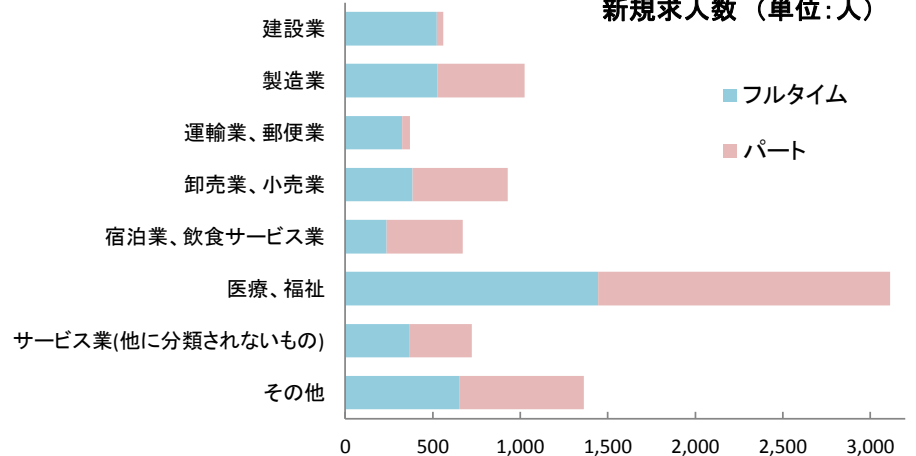
月間有効求人・有効求職・有効求人倍率の動き(パートを含む)



今月の年齢階層別有効求人・有効求職状況(常用・パートを含む)



新規求人数(単位:人)



新規求人の産業別割合

